

中期計画(原案)に掲げる数値目標の概要

大区分	中区分	数値目標概要	達成時期	現 状 等	計画No
第2 教育研究等	1 教 育	希望者を対象とした初級システムアド ミニストレーター試験の合格率の向上	平成22年度	[新規] 合格率を把握する仕組づくりを経て、 達成目標を設定。	No.3
		学生の80%以上が、卒業時までに TOEIC 450点以上を取得	平成22年度	[新規] (参考:平17.4 TOEIC結果) * 平17入学生全員受験 450点以上 10.8% 350~449点 39.4% 230点~349点 40.3% 230点未満 9.5%	No.4
		社会福祉士資格試験合格率 50%	平成22年度	47.5% 平17.3までの受験者数累計に対する割合	No.7
		看護師国家資格試験合格率 100%	毎年度	97.7% (平17.3卒)	No.8
		保健師国家資格試験合格率 100%	毎年度	77.8% (平17.3卒)	No.8
		助産師国家資格試験合格率 100%	毎年度	100% (平17.3卒)	No.8
		管理栄養士資格試験合格率 100%	毎年度	97.2% (平17.3卒)	No.9
		英語を専攻する学生にあっては、学 生の全員がTOEIC 650点以上	平成22年度	[新規]	No.11
		中国語、韓国語を専攻する学生に あっては各種検定試験において中級 レベル以上	平成22年度	[新規]	No.11
		各種免許資格取得率の向上	平成23年度	[新規] 資格取得体制の整備と連動し、取得 率を把握する仕組づくりを経て、達成 目標を設定。	No.13
		就職決定率 100% * 就職決定率 = 就職者数 / 就職希望者数	平成23年度	95.8% (平17.3卒)	No.14
大学院進学希望者の進学率 100%	平成23年度	[新規]	No.15		

大区分	中区分	数値目標概要	達成時期	現 状 等	計画No
		大学院生の国内学会等での発表件数の増加	平成21年度	国際文化学研究科 0件(平17) 健康福祉学研究科 2件(平17)	No.16
		健康福祉学における博士号取得者の輩出	平成23年度	[新規]	No.17
		教職員に対し、成績評価基準の厳格化に関する研修、教育方法の改善、学生指導の向上等に関する研修を年2回行い、その参加を義務づけ	平成18年度	年2回実施(義務化新規)	No.51
		文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(教育GP)」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」の採択	平成23年度	平成17年度申請するも不採択	No.57
	2 学 生 支 援	学生支援に関わる教職員に対し、学生指導や学生相談に関する研修を年2回行い、参加を義務づけ	平成19年度	年2回実施(義務化新規)	No.82
		インターンシップについて、全学部からの参加者数を伸ばす	平成21年度	(インターンシップ平17実績( )は平16) 国際文化学科 9(2) 社会福祉学科 0(3) 生活環境学科 0(1) 栄養学科 0(0) 環境デザイン学科 5(8) 看護学科 5(0) 計(人) 19(14)	No.90
	3 研 究	年間3件以上の共同研究及び年間20件の受託研究を実施	平成23年度	共同研究 0件 受託研究 15件 (いずれも平16年度)	No.93
		科学研究費補助金その他の公募助成金について年間25件以上採択	平成23年度	科学研究費採択 18件(継続含む) 奨励寄附金 6件 (いずれも平16年度)	No.95
		学会誌・国際誌への投稿や国内・国際学会での発表件数を伸ばす	平成23年度	[新規] 教員の業務のウエイト付け、個人目標の設定をへて組織目標を設定。	No.95
		「魅力ある大学院教育イニシアティブ」など研究拠点形成を促進する補助金への採択	平成23年度	[新規]	No.96

大区分	中区分	数値目標概要	達成時期	現 状 等	計画No
	4 地 域 貢 献	全教員が年1回以上は公開講座やサテライトカレッジ、共同研究・受託研究、高大連携等の地域貢献活動に参加し、それらが適切に評価される仕組みの検討	平成20年度	[新規]	No.114
	5 国 際 交 流	地域の国際交流団体や国際協力団体との共同企画などを年1回は行なう体制を整える。	平成19年度	不定期実施	No.128
第3 業 務 運 営	1 運 営 体 制	同窓会との連携や連絡を行なう教職員の役割を明確化し、年2回程度の情報交換の機会を設ける	平成19年度	[新規]	No.148
第4 財 務	1 自 己 収 入	外部研究資金の獲得額を現在の2倍に伸ばす。	平成23年度	外部研究資金獲得額 37 百万円 (平16年度)	No.173